

第6回長野市総合計画審議会作業部会 教育部会 会議録（概要）

日 時：平成18年1月30日（月）

午前9時30分から

場 所：第一庁舎8階 第三委員会室

（1）第3回長野市総合計画審議会（1月16日開催）について（報告）

作業部会員 ・審議会資料集の中の資料1と、本日の資料1との関係はどのように捉えたらいいのか。

事務局 ・1月16日の審議会に提示した骨子に肉付けしたものが本日本配布している資料1である。審議会資料集の中の資料1を一段進めたものとしてご理解いただきたい。

（2）基本構想 まちづくりの方針（施策の大綱）素案たたき台（教育関係）について
<まちづくりの方向性>

作業部会員 ・「少子・高齢化、・・・の重要性が高まる」という状況下において、「健やかで・・・の形成」を目指すという構造になっているかと思うが、施策内容を講じる上で、施策の視点はこの3点で充足できているのか。現在、欠落していると言われているものに長野らしい視点を当てた時に、この3点では足りないところがあると思う。

作業副部長 ・施策の視点とそれ以降の1～4は対応関係にあるのだろうが、飛んでいたりするので、好意的に読み込まないと見えてこない。だから、先程の様に何か不足しているのではないかという意見が出るのではないかと思う。

事務局 ・施策の視点は、1～4の各施策を実現していく上での共通の視点として掲げているものなので、まちづくりの方向性の中で完結するものではなく、全体として読み込んでいただきたい。

作業副部長 ・この視点は基本計画にも載ってくるのか。

事務局 ・これは、基本構想だけである。

・この内容については、基本計画を策定していく中で、必要に応じて修正をすることも可能である。

作業部会員 ・目標編のまちづくりの視点との整合性を考えた時、これでよいのか？長野らしい施策の展開を考えた時、この視点だけでは疑問がある。
・（総合計画）全体のつながりを考えながら読み直し、審議し、修正していく必要があるかと思う。

事務局 ・基本計画の策定作業と平行しながら、足りない視点や方向性を考え、議論していただきたいと思う。

作業部会長 ・細かい内容に入ってくると忘れてしまうことだが、全体像を見ながら

今後進めていくようにしたいと思う。

作業部会員 ・ 施策の視点の3点目の学習というのは、教育という言葉に含まれると思うので、「・・・教育・文化の充実」としたほうが良いのでは。

作業部会員 ・ 同意見である。

< 1 次世代を担う人材の育成と環境の整備 >

作業部会員 ・ この内容で言い尽くされていて良いのではないかと思う。

作業副部長 ・ 感想であるが、「行政が何かをする。」という印象の表現になっている様に感じるが、社会の実態を吸い上げてそれを返していくというニュアンスがあっても良いのではないか。

作業部会員 ・ 県外の芸術家を招いて何かをするということはすでに実施していることかと思うが、長野市で活躍している芸術家をより育てていくことの必要性が言われているので、3の文化の話になるかもしれないが、盛り込んだらどうか。

作業部会員 ・ 1点目の「多様な教育」今まで以上に必要になってくるところだとは思いますがどのようなものをイメージするのか注釈が必要なのかかもしれない。

・ 2点目の「支援体制」については、大きい都市になればなるほど重要になる内容であり、長野市らしい部分でもあると思う。

・ 3点目についてもその通りのことであり、中核都市である長野としては力を入れていかなければならない内容だと思う。

・ 4点目の「子どもたちを育てていく環境」という表現は、上の3点全てを言いくるめているように感じるのでは何か違うのではないかと思う。

事務局 ・ 4点目については、一番言いたい内容は前段の「・・・連携と交流の推進」までなので、趣旨がブレるようであれば、後段を削除しても良いかと思う。

作業副部長 ・ この部分については、「・・・を育てていく（地域コミュニティとしての）環境」ということかと思った。

作業部会員 ・ そのような表現であれば分かりやすい。

作業部会長 ・ ワークショップでも出ていた意見であるが、学校現場にいて、地域で子どもたちを育てる環境がないと感じている。4点目の内容は大変大事な内容である。ただ、「地域で子どもたちを育てていく環境」としてしまくと、少し狭くなるように感じる。

・ 2点目は「・・・の支援体制の充実を図ります。」となっている。語句の定義を考えると、ここでは市の施策に限定しているようだが、県や国の体制との連携も必要なのでここに入れてほしい。

作業副部長 ・ 1点目の「多様な教育」というのは、「生きる力」か「多様な教育」

に注釈をつけた方が良いかと思う。「生きる力」であれば、文部科学省としての見解などがあるのではないか。

・児童館等、市の中の各部局が連携を図る必要がある。具体的なことが可能か否かも含めて掲載を考えてはどうか。

作業部会員 ・「充実」という語句の定義を考えると、これで良いのではないかとと思う。

・この4つの序列もこれで良いのではないか。

専門部会長 ・2点目について、「充実」だけだと市の施策に偏る気がするので修正が必要かと思う。

事務局 ・関係機関との連携を促進するといった表現を追加したい。

作業副部会長 ・市の各部局間の連携の話は、市民フォーラムの部会をどのようにまたいで進めるかという意見である。

作業部会長 ・以上の意見を受けて、事務局で修正していただきたい。

< 2 豊かに学びあう社会の形成 >

作業部会員 ・目標編のまちづくりの視点の1点目にもあり、市民会議等でも言われていることだが、地域が自立して何かをやっていくという趣旨の項目は入れなくても良いのか。

事務局 ・行政経営の方針の2点目にある「地域の個性をいかした住民自治の推進」が各分野ごとの方針にかかっていくものであり、各施策の前提となる内容である。

作業部会員 ・生涯学習の地域づくりをする上での土台がまずは必要だと思った。そういうことであれば良いが、何か足りない気がする。

作業部会長 ・市民が意欲的に参加していくに当たって何か不足しているものがあるのかもしれない。

作業部会員 ・あらゆることが2点目の「いきいきとした地域づくり」に含まれるのでこれで良い気もするし、分けた方が良い気もする。良い言葉ではあるが、ちょっとボヤけているような気がする。内容が大きすぎるのか。

作業部会員 ・タイトルに「形成」とあるから、その内容も漠然としたものになってくるのかもしれない。書いてあることが大事なことはあるが、内容を読んでも心に響く言葉がない。

事務局 ・タイトルに「形成」とあるからといって中身も漠然としたものにする必要はない。基本計画を策定しながら、再度立ち戻って考えていっても良いかと思う。

作業部会長 ・この部分については、引き続き各部会員の宿題としたい。

< 3 ゆとりと潤いを感じる多彩な文化の創造と継承 >

- 作業部会員 ・ 野外彫刻がうまく活かされていないという意見もあったので、2点目に「活用」という文面があるのは良いと思う。
- 作業部会長 ・ 学校で音楽鑑賞をやっている。今は東京から人を呼んでいるが、先ほども意見があったように、地元の資源をもっと活用していくという意味でこの表現は良いと思う。
- 作業部会員 ・ 芸術活動となると、かけ離れたイメージがあるが、身近に感じ、「参加し、参画すること」が必要ではないか。
- 作業副部会長 ・ 同意見である。文化芸術活動に気軽に参加できる雰囲気が出せたらと思う。
- 作業部会員 ・ 「参画」という表現も入れたほうが良いと思う。
- 作業部会長 ・ 文化はとても広いものである。食も文化だと考えると、今のような言葉を入れてもらえたらと思う。
- 作業部会員 ・ 「参加」はいいとしても「参画」を入れることで高いレベルの文化の側面が消えてしまうのかもしれない。
- 作業部会長 ・ 「多彩な文化」としているのも、それぞれに合わせた色々な文化があるということになるかと思う。
- 作業部会員 ・ 施設整備に市民が関わって文化的風土を醸成していくのか、それとも施設整備はすでに充足しているので第四次ではソフト面を謳っていくということなのか。施設整備ついてどのように捉えるかにより表現方法は変わってくるかと思う。
- 作業部会員 ・ 「主体的・創造的」というところに市民が参加するという意味が読取れるのかと思った。
- 専門部会員 ・ 「参加、参画」に関しては、前段の「主体的・創造的な」に含まれると思う。後段を「・・・身近に感じ、発展向上できる文化的風土・・・」としたらどうか。

< 4 躍動する生涯スポーツの振興と競技力の向上 >

- 作業部会員 ・ 2点目は、網掛け部分が追加にされたことにより文章がボケる気がする。「・・・の関心を高める(ため)」なのか、「・・・の関心を高める(ことができる)」なのか、狙いはどこにあるのか。
- 事務局 ・ プロの側面だけでなく、観戦するスポーツやスポーツ大会へのボランティア参加など、市民に身近なスポーツとしての競技スポーツの側面を表現するためこのようにした。
- 作業部会員 ・ タイトルと合っているのでこの内容で良いと思う。
- 作業副部会長 ・ 長野市スポーツ振興審議会で報告のあったアンケート結果を見ると、自分たちが楽しむためのスポーツを振興してほしいという意見が多かったため内容としては良いと思うが、文章としては練り直す必要が

あるかと思う。

- ・1点目は、この目的を入れると、スポーツが1つの道具になってしまう。スポーツ自体を楽しむという意味合いが消えてしまう気がする。健康づくりという側面もあるかとは思いますがそれだけではない。この表現では限定されてしまう感がある。
- ・2点目については、競技団体等の関係もあるかと思うので、体育課との調整も必要かと思う。
- 専門部会員 ・文章としては練り直す必要があるかとは思いますが、方向性としては良いと思う。
- 作業副部長 ・1点目については、下手でもやってみよう。となる環境がないとダメ。スポーツが道具として言葉が独り歩きするようでは困る。
- 作業部会長 ・タイトルについてだが、スポーツは、人づくりにもつながり、「見る」という側面、「支える」という側面など含めて、どの方もスポーツに関われるという意味合いを出すには、生涯スポーツという言葉にした方が良いのかと思う。
- 事務局 ・1点目については、余暇活動としてのスポーツという側面が欠けているということでしょうか。
- 作業副部長 ・スポーツを好きになって、楽しんでやるというニュアンスがほしい。
- 事務局 ・1点目については、ご意見のとおりこの目的に限定するのは無理があるかと思うので、修正したい。
・2点目についても、「・・・の関心を高める(ため)」という読み込みは難しいかと思う。地元の選手の活躍により、市民のスポーツに対する関心やスポーツ施設の利用率の向上につながるのかと思う。
・いずれの文章も展開の仕方を練り直す必要がある。

- (3)基本構想 まちづくりの方針(施策の大綱)素案たたき台(行財政関係)について
- 作業部会員 ・リード文の中の「市民本意」というのは、どういう意味で捉えたらよいのか。
 - 事務局 ・市民の望む気持ちに立つという意味で「意」という字を使っている。行政の持っている人的資源、物的資源、情動的資源を市民の立場に立って活用したいという意味を込めたもの。

【その他】

- (1)市民フォーラム21各作業部会における検討分野の整理と全体構成について
- 作業部会員 ・「認め合い支えあう健康福祉のまち」の内容は、子育てや高齢者の関係など、教育分野と密接に関わる。理念がズレたら困るが整合性が取れていれば良いのではないかと思う。
 - ・それぞれの分野に施策が振り分けられているので、少し物足りなさを

感じる部分が出てくるのかもしれない。

専門部会員

- ・子どもたちを取り巻く安全の話は、「より安全で安心して暮らせるまち」で扱われているが、教育としても重要な部分である。今後、どのように表現していくのが気になっている。

作業部会長

- ・教育は全てに関わってくるものかとは思いますが、全てを取り入れるのではなく、必要に応じて取り入れていけばと思う。
- ・全体を通した整合性も併せて見ていく必要があるかと思う。

以上